

栄養情報提供書

医療機関・福祉施設・介護関連施設 御中

作成日 H. 年 月 日

主治医・看護師・ST・ケアマネージャー・管理栄養士 様

氏名			男・女	<治療食対象の疾患> ・糖尿病 ・心臓疾患 ・高血圧症 ・貧血 ・腎臓疾患 ・肝臓疾患 ・脂質異常症 ・胃・十二指腸潰瘍 ・その他 ()
生年月日	M・T・S・H 年 月 日 (歳)			
入院日	平成 年 月 日			
身体状況	身長	cm		
	体重	入院時 (/)	kg	
		最終測定 (/)	kg	
経口 提供内容	食種	補助食 いく 何を		
	エネルギー	kcal		
	たんぱく質	g		
	塩分	g		
食事形態	【主食】・米飯 ・軟飯 ・全粥 () 【分量】 _____ g/食 【副食】・普通食 ・軟菜 ・きざみ食 (cm大) ・ミキサー食 ・()食 【増粘剤の使用】・なし ・主食に添加 ・副食に添加 (粘度：++++) 【水分の形状調整】・不要 ・ゼリー状 ・増粘剤添加 (粘度：++++) 【食器等】・特記なし ・自助スプーン ・安定皿 【嚥下ピラミッド】 レベル _____ 相当			
禁止食品および嗜好食品の対応	・なし ・あり (食品名、理由、対応内容)			
経腸栄養 提供内容	・経管栄養なし ・経鼻 ・胃瘻 ・空腸瘻 栄養剤 商品名・濃度 量・速度・白湯量 ※栄養剤選択理由			
	エネルギー	kcal		
	たんぱく質	g		
	塩分	g		
栄養指導・相談	・なし ・あり			
特記事項 摂取状況 静脈栄養 などについて	※ 裏面に当院の「嚥下食および食事形態の基準」を添付しています。ご参照下さい。			
問合せ先 担当者	食事・栄養に関するご質問がありましたら、ご連絡ください。 _____ 病院 栄養科 管理栄養士 _____ 電話 () -			

当院の「嚥下食および食事形態の基準」

当院の嚥下(訓練)食の主な内容

食種名	嚥下 A 食	嚥下 B 食	嚥下 C 食	嚥下 D 食
主食	主食 なし	主食 とろみ付粥 半量	主食 全粥	主食 全粥
副食	ゼリー 1~2品/食	ゼリー 1~2品/食	ミキサー食とろみ付とゼリーなど 3~4品/食	ミキサー食とろみ付歯茎でかめるものなど 3~4品/食
嚥下ピラミッドとの相関	Level 1	Level 2	Level 3	Level 3~4

当院の食事形態の基準および目安

名称	具材の大きさ・基準、調理法	喫食者の咀嚼力の目安
一口大きざみ	スプーンにのる 大きさ。3cm程度	大きいものが噛み切れない
きざみ	2cm×5mm 軟菜	食べ物がややかみにくい。
ソフト食	歯茎で押しつぶし出来る硬さ	無歯・それに近いくらい咀嚼力が低下
ミキサー	フードプロセッサーにかけ ペースト状	開口障害、咽頭あるいは食道の通過障害など

食品にとろみをつける粘度(硬さ)の目安

増粘剤の商品名 「つるりんこ」(株)クリニコの場合

粘度	弱い	中くらい	強い	とろみのつき時間
とろみの目安	ポタージュ状	ヨーグルト状 ケチャップ状	マヨネーズ状	
100mlあたり 使用量	お茶 1~1.5g	2~2.5g	3g	2分



<参考資料>

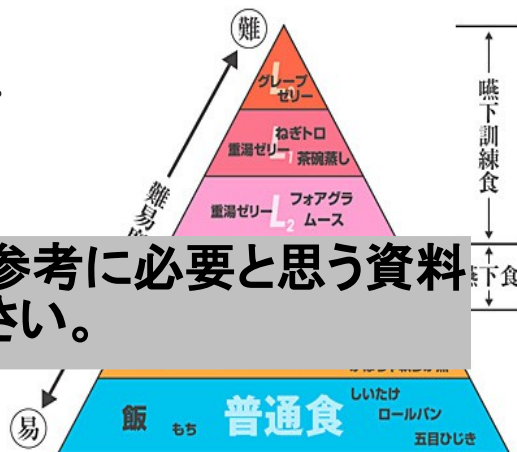
嚥下ピラミッドとは・・・

食品の硬さ、凝集性、付着性などをもとに噛みやすさ、飲み込みやすさで食品を分類したもの。摂食・嚥下の難易度により6段階のレベルにわけ、ピラミッド状にしたものです。

1985年から聖隷三方原病院で始まった嚥下食の実績を

- Level 1 は 嚥下食
- Level 2 は 嚥下食
- Level 4 は 介護食(移行食)
- Level 5 は 普通食

各施設で食事管理の参考に必要と思う資料を作って差替えてください。



栄養情報提供書

様式の使用上のポイント

医療機関・福祉施設・介護関連施設 御中

作成日 H. 年 月 日

主治医・看護師・ST・ケアマネージャー・管理栄養士 様

氏名			男・女	<治療対象の疾患> ・糖尿病 ・心臓疾患 ・高血圧症 ・貧血 ・腎臓疾患 ・肝臓疾患 ・脂質異常症 ・胃・十二指腸潰瘍 ・その他()
生年月日	M・T・S・H 年 月 日 (歳)			
入院日	平成 年 月 日			
身体状況	身長 cm	体重 入院時 (/) kg	最終測定 (/) kg	
経口提供内容	食種	補助食 いつ 何を		
エネルギー	kcal			
たんぱく質	g			
塩分	g			
食事形態	【主食】・米飯 ・軟飯 ・全粥 () 【分量】 【副食】・普通食 ・軟菜 ・きざみ食 (cm大) ・ミキサー食 () 【増粘剤の使用】・なし ・主食に添加 ・副食に添加 (粘度: + + + + +) 【水分の形状調整】・不要 ・ゼリー状 ・増粘剤添加 (粘度: + + + + +) 【食器等】・特記なし ・自動スプーン ・安定皿 【嚥下ピラミッド】 レベル 相当			
禁止食品および嗜好食品の対応	・なし ・あり (食品名、理由、対応内容) 経腸栄養 ・経鼻 ・胃瘻 ・空腸瘻 栄養剤 商品名・濃度 量・速度・白湯量 ※栄養剤選択理由			
エネルギー	kcal			
たんぱく質	g			
塩分	g			
栄養指導・相談	・なし ・あり			
特記事項	摂取状況 静脈栄養 などについて 随時 ※ 裏面に当院の「治療食の基準」を添付しています。 などに変更して、必要な情報を提供に裏面を活用する。 ※ 裏面に当院の「嚥下食および食事形態の基準」を添付しています。ご参照下さい。			
問合せ先 担当者	食事・栄養に関するご質問がありましたら、ご連絡ください。 病院 栄養科 管理栄養士 電話 () -			

栄養情報提供書

記入例 A

医療機関・福祉施設・介護関連施設 御中

作成日 H. 23 年 2 月 1日

主治医・看護師・ST・ケアマネージャー・管理栄養士 様

氏名	〇〇 〇〇子		男・女	<治療対象の疾患> ・糖尿病 ・心臓疾患 ・高血圧症 ・貧血 ・腎臓疾患 ・肝臓疾患 ・脂質異常症 ・胃・十二指腸潰瘍 ・その他()
生年月日	M・T・S・H 7 年 3 月 19日 (78歳)			
入院日	平成 23 年 1 月 6 日			
身体状況	身長 152 cm	体重 入院時 (1/6) 54.2 kg	最終測定 (1/15) 50.0 kg	
経口提供内容	食種	補助食 いつ 何を		
エネルギー	1500 kcal	200×3 kcal 合計 2100 kcal		
たんぱく質	55 g	7.3×3 g 77 g		
塩分	4 g未満	0.25×3 g		
食事形態	【主食】・米飯 ・軟飯 ・全粥 () 【分量】 150 g/食 【副食】・普通食 ・軟菜 ・きざみ食 (2cm大) ・ミキサー食 ・ソフト食 【増粘剤の使用】・なし ・主食に添加 ・副食に添加 (粘度: + + + + +) 【水分の形状調整】・不要 ・ゼリー状 ・増粘剤添加 (粘度: + + + + +) 【食器等】・特記なし ・自動スプーン ・安定皿 【嚥下ピラミッド】 レベル 相当			
禁止食品および嗜好食品の対応	・なし ・あり (食品名、理由、対応内容) 経腸栄養 ・経鼻 ・胃瘻 ・空腸瘻 栄養剤 商品名・濃度 量・速度・白湯量 ※栄養剤選択理由			
エネルギー	kcal			
たんぱく質	g			
塩分	g			
栄養指導・相談	(なし) ・あり ただし前回 入院時に透析導入の指導(平成20年6月)			
特記事項	入院当初 喫食量5割以下が続き、毎食テルミールミニ1p追加としました。 1月15日ころから喫食量増えてきています。 朝は10割摂取。透析日以外は主食8割程度、副食4~8割摂取できています。 透析日の昼食、夕食の喫食量は2~6割と日によってムラがあります。 透析ため、昼食の時間がずれ、夕食にも影響しているようです。 テルミールは 現在平均すると1日1p半ほど摂取されています。			
問合せ先 担当者	食事・栄養に関するご質問がありましたら、ご連絡ください。 病院 栄養科 管理栄養士 電話 () -			

栄養情報提供書

記入例 D

医療機関・福祉施設・介護関連施設 御中 作成日 H. 22 年 10 月 20 日

主治医・看護師・ST・ケアマネージャー・管理栄養士 様

氏名	●●●●	男・女	男	<治療対象の疾患> ・糖尿病 ・心臓疾患 ・高血圧症 ・貧血 ・腎臓疾患 ・肝臓疾患 ・脂質異常症 ・胃・十二指腸潰瘍 ・その他 ()
生年月日	M・17・H 16 年 11 月 16 日 (69 歳)			
入院日	平成 22 年 5 月 19 日			
身体状況	身長 172 cm 体重 入院時 (5/20) 62 kg 最終測定 (10/18) 60 kg			
経口提供内容	食種 昼と夕食のみ 嚥下困難 食	補助食 何を 毎食 お茶ゼリー 100ml		
エネルギー	2食で 1200 kcal			
たんぱく質	50 g			
塩分	6 g 未満/日			
食事形態	【主食】・米飯 ・軟飯 ・全粥 ・ () 【分量】 200 g/食 【副食】・普通食 ・軟菜 ・きざみ食 (cm大) ・ミキサー食 ・ソフト食 【増粘剤の使用】・なし ・主食に添加 ・副食に添加 (粘度: +・+・+・+) 【水分の形状調整】・不要 ・ゼリー状 ・増粘剤添加 (粘度: +・+・+・+) 【食器等】 ・特記なし ・自助スプーン ・安定皿 【嚥下ピラミッド】 レベル _____ 相当			
禁止食品および嗜好食品の対応	・なし ・あり (食品名、理由、対応内容) 鶏肉嫌い			
経腸栄養提供内容	・経管栄養なし ・経鼻 ・胃瘻 ・空腸瘻 栄養剤 商品名・濃度 MA-8 プラス (100kcal/100ml) 量・速度・白湯量 400ml + 水100mlを寒天2gで 固形化し、シリンジで注入 ※栄養剤選択理由			
エネルギー	400 kcal			
たんぱく質	16 g			
塩分	1.2 g			
栄養指導・相談	(なし) ・あり			
特記事項	転院時、仙骨部に褥瘡あり、座位で痛みを訴えられた。栄養は胃瘻からのみ。 褥瘡の創部への刺激を軽減する為、栄養剤を固形化して投与に変更。 褥瘡改善し、座位の保持できるようになったので、嚥下訓練開始。 8月12日から 1日一食嚥下食の摂取を開始。 朝は傾眠がみられ誤嚥のリスク高い、また食事全介助が必要なため 栄養は、朝は胃瘻、昼と夕は経口からとしていました。 全量摂取できています。			
問合せ先担当者	食事・栄養に関するご質問がありましたら、ご連絡ください。 _____ 病院 栄養科 管理栄養士 _____ 電話 () -			

栄養情報提供書

記入例 E

医療機関・福祉施設・介護関連施設 御中 作成日 H. 23 年 1 月 25 日

主治医・看護師・ST・ケアマネージャー・管理栄養士 様

氏名	○ ○ 夫	男・女	男	<治療対象の疾患> ・糖尿病 ・心臓疾患 ・高血圧症 ・貧血 ・腎臓疾患 ・肝臓疾患 ・脂質異常症 ・胃・十二指腸潰瘍 ・その他 ()
生年月日	M・17・H 12 年 2 月 12 日 (87 歳)			
入院日	平成 22 年 11 月 6 日			
身体状況	身長 154 cm 体重 入院時 (11/10) 48 kg 最終測定 (1/20) 46.5 kg			
経口提供内容	食種 昼食のみ 嚥下訓練 食	補助食 何を 特になし		
エネルギー	0~100 kcal			
たんぱく質	g			
塩分	g			
食事形態	【主食】・米飯 ・軟飯 ・全粥 (主食なし) 【分量】 _____ g/食 【副食】・普通食 ・軟菜 ・きざみ食 (cm大) ・ミキサー食 ・ソフト食 【増粘剤の使用】・なし ・主食に添加 ・副食に添加 (粘度: +・+・+・+) 【水分の形状調整】・不要 ・ゼリー状 ・増粘剤添加 (粘度: +・+・+・+) 【食器等】 ・特記なし ・自助スプーン ・安定皿 () 【嚥下ピラミッド】 レベル _____ 相当			
禁止食品および嗜好食品の対応	・なし ・あり (食品名、理由、対応内容)			
経腸栄養提供内容	・経管栄養なし ・経鼻 ・胃瘻 ・空腸瘻 栄養剤 商品名・濃度 エレンタール 5p/日 量・速度・白湯量 1p+微温湯300ml /2時間、1日5回 ※栄養剤選択理由 胃および大腸切除術後			
エネルギー	1500 kcal			
たんぱく質	66 g			
塩分	3.3 g			
栄養指導・相談	(なし) ・あり			
特記事項	前院で手術のため3ヶ月の絶食。転院時、廃用症候群によると思われる 嚥下障害がみられ経管にて栄養管理。イントラリボスを隔日で静注。 嚥下訓練は、口腔内のアイスマッサージのみを行なった。 ADL向上みられ、発語もふえた、EDチューブを挿入した状態ではあるが、 12月20日より 昼食時に食物摂取による直接訓練を開始。 ゼリー1品と、お茶とろみ付き1カップのみを提供。 咽頭残留著しいが、喀出でき、誤嚥していない。 1~2口の摂取しか出来ていないが、本人の希望もあり、 嚥下訓練継続しております。			
問合せ先担当者	食事・栄養に関するご質問がありましたら、ご連絡ください。 _____ 病院 栄養科 管理栄養士 _____ 電話 () -			

栄養情報提供書

記入例 B

医療機関・福祉施設・介護関連施設 御中 作成日 H. 23 年 1 月 25 日

主治医・看護師・ST・ケアマネージャー・管理栄養士 様

氏名	〇〇 〇〇子	男・女	<input type="radio"/>	<治療食対象の疾患> ・糖尿病 ・心臓疾患 ・高血圧症 ・貧血 ・腎臓疾患 ・肝臓疾患 ・脂質異常症 ・胃・十二指腸潰瘍 ・その他 ()
生年月日	M・T・S・H 7 年 3 月 19 日 (78 歳)			
入院日	平成 23 年 1 月 6 日			
身体状況	身長 150 cm			
	体重 入院時 (/) 未測定 kg 最終測定 (1/15) 37.5 kg			
経口提供内容	食種 普通 B 食	補助食 いつ 何を	毎食 お茶ゼリー 100ml	
エネルギー	1400 kcal			
たんぱく質	70 g			
塩分	制限なし (1日8g程度) g			
食事形態	【主食】・米飯・軟飯・ 全粥 () 【分量】200 g/食 【副食】・普通食・軟菜・きざみ食 (cm大) ・ミキサー食・ ソフト食 【増粘剤の使用】・なし・主食に添加 副食に添加 (粘度: +・++・+++) 【水分の形状調整】・不要・ ゼリー状 ・増粘剤添加 (粘度: +・++・+++) 【食器等】・特記なし・自助スプーン・ 安定皿 ※持参の先割れスプーンを使用 【嚥下ピラミッド】 レベル _____ 相当			
禁止食品および嗜好食品の対応	・なし あり (食品名、理由、対応内容) ワーファリン服用のため納豆禁止			
経腸栄養提供内容	経管栄養なし ・経鼻 ・胃瘻 ・空腸瘻 栄養剤 商品名・濃度 量・速度・白濁量 ※栄養剤選択理由			
エネルギー	kcal			
たんぱく質	g			
塩分	g			
栄養指導・相談	なし ・あり			
特記事項	1月18日から リハビリ開始。 4割程度だった喫食量が、1月19日から ほぼ10割になりました。 水分にムセ見られ、増粘剤使用。 また水分の自発摂取されませんので、お茶ゼリーを追加。 上前歯の義歯なく無歯状態のため咀嚼機能低下あり、 「きざみ食」では「肉など硬い」との訴えもあり、「ソフト食」を提供。 ベット上ギャッジアップあるいは食堂にて車椅子で、自力摂取。			
問合せ先担当者	食事・栄養に関するご質問がありましたら、ご連絡ください。 _____ 病院 栄養科 管理栄養士 _____ 電話 () - _____			

栄養情報提供書

記入例 C

医療機関・福祉施設・介護関連施設 御中 作成日 H. 22 年 12 月 17 日

主治医・看護師・ST・ケアマネージャー・管理栄養士 様

氏名	〇〇 〇夫	男・女	<input checked="" type="radio"/>	<治療食対象の疾患> 糖尿病 ・心臓疾患 ・高血圧症 ・貧血 ・腎臓疾患 ・肝臓疾患 ・脂質異常症 ・胃・十二指腸潰瘍 ・その他 ()
生年月日	M・T・S・H 8 年 10 月 25 日 (91 歳)			
入院日	平成 22 年 12 月 4 日			
身体状況	身長 未測定 cm			
	体重 入院時 (/) 未測定 kg 最終測定 (12/16) 44.5 kg			
経口提供内容	食種 嚥下食 食	補助食 いつ 何を	毎食 エンジョイゼリー など お茶ゼリー	
エネルギー	700 kcal	200×3kcal	合計 1300kcal	
たんぱく質	30 g	22 g	52 g	
塩分	6 g 未満			
食事形態	【主食】・米飯・軟飯・ 全粥 () 【分量】 100 g/食 【副食】・普通食・軟菜・きざみ食 (cm大) ・ ミキサー食 ・ソフト食 【増粘剤の使用】・なし・主食に添加 副食に添加 (粘度: +・++・+++) 【水分の形状調整】・不要・ ゼリー状 ・増粘剤添加 (粘度: +・++・+++) 【食器等】・ 特記なし ・自助スプーン・安定皿 【嚥下ピラミッド】 レベル _____ 相当			
禁止食品および嗜好食品の対応	・なし あり (食品名、理由、対応内容)			
経腸栄養提供内容	経管栄養なし ・経鼻 ・胃瘻 ・空腸瘻 栄養剤 商品名・濃度 量・速度・白濁量 ※栄養剤選択理由			
エネルギー	kcal			
たんぱく質	g			
塩分	g			
栄養指導・相談	なし ・あり			
特記事項	ベット上座位で食事介助を行えば、ほぼ全量摂取できるようになった。 食物を口腔内に入れると、咀嚼運動が続き、介助しても喫食時間が 1時間近くに及びたため、嚥下食の全体量を1/2量に減らし、咀嚼の不要な ゼリーを追加とし、食事時間の短縮(30分程度目安)と、エネルギー補充 を目的に調整しておりました。 また、水分の自発摂取もされませんので、毎食お茶ゼリーを100ml追加 といたしております。とろみ付きのお茶の摂取も可能です。			
問合せ先担当者	食事・栄養に関するご質問がありましたら、ご連絡ください。 _____ 病院 栄養科 管理栄養士 _____ 電話 () - _____			